

白 寿

「昔の遊び」 世代間交流会

藤崎小学校・常盤小学校一学年

●藤崎小学校 第一学年 26名 老連支援者22名
実施日 令和7年1月30日(木) 午前10時〜12時

- ◆種目 ①けん玉 ②お手玉 ③おはじき
- ④あやとり ⑤ずぐり ⑥紙遊び

会場の体育館で「始の会」を行い児童達と対面、支援者を紹介し、児童達から元気な挨拶があった。我々支援者は町の一大イベント「秋祭り」でゲームコーナーを担当し、その時に経験した児童も居り、支援者は四年ぶりの活動でも、すぐに慣れ、児童達と楽しく交流していた。

児童は6グループに分かれ、前記6種目を10分毎に交代し、支援者から安全に行う注意を受け、やり方を教わっていた。「終わりの会」で児童代表のお礼の言葉では、楽しく活動出来たことを喜び、感謝の声が多く我々も子ども達の元気な声に励まされた。



藤崎小学校創立150周年に入学した1年生と老連の支援者たち



けん玉は足や腰の動きが難しい



ずぐりは縄を巻くのにも苦労した

発行者
藤崎町老人クラブ連合会
藤崎老人福祉センター内
電話 0172-75-3232
Fax 0172-75-2128

●常盤小学校 第一学年54名 支援者27名
実施日 2月7日(金) 午前10時〜12時

◆種目は藤崎小学校と同じ6種目。常盤小学校の会場は、特別教室4カ所を使って実施された。進行は藤崎小学校と同様に行われた。支援者も二回目の「昔の遊び」なので児童数が多かったが常盤地区の会員が多く余裕があり、先生方4・5人が支援者を手伝い、児童達も安心して元気あふれる活動だった。



常盤小学校1年生と老連会員の支援者たち



どっちがうまいかな

カブトをかぶり出陣？

町老連第2回理事会

◆県老連会長表彰伝達式 ◆講話「交通・生活安全 特殊サギ防止」

1月24日(金) 午前10時から町文化センター多目的ホールで第2回理事会を開催、単位クラブ会長 専門部長・委員長など51名が出席した。

一、会長挨拶

皆さん、おはようございます。12月からの大雪で大変だと思えます。これからが本番なので雪片付けには十分に気をつけて頑張ってください。

二、各表彰伝達

(1)青森県知事表彰 老人クラブ育成功労者 矢沢長寿会長 清野草名義氏

(2)青森県老人クラブ連合会 会長表彰 代表 赤石久男氏 伝馬喜楽会会長 佐々木トミエ氏

個人功労表彰 常盤養命会第二会長 神佳子氏 西中野目長寿会長 佐藤ツエ氏 女性部役員 神信子氏

(3)記念撮影

受賞者を囲んで出席者全員で記念撮影を行った。

三、講話

演題「交通安全及び特殊詐欺防止について 講師 弘前警察署 交通安全・生活安全係」

(1)高齢歩行者の交通安全について

・信号のある交差点とない道路の横断

・夜の外出・道路の横断

自宅近くの場所での事故が多い、横断歩道を利用すること。

交通安全のため

の心の「ゆとり」が大切です。

落ち着いて行動して下さい。

(2)特殊サギ防止について

投資詐欺・結婚(ロマンス)

詐欺・国際電話など、手口は

色々で、お金にまつわるうまい

話は全て詐欺です。だまされな

いように注意しましょう！

四、閉会

午前11時45分に全日程を終了し散会した。



受賞者を囲んで記念撮影

冬期トランプ大会の結果

大会は2月15日(土)藤崎老人福祉センターに於いて、参加者47名で開始した。優勝者は横山哲英氏(水木)。入賞者は次表の通りです。

順位	氏名	地区	飛び賞(順位の5番飛び)
優勝	横山 哲英	水木	15位
準優勝	齋藤 光明	館川	20位
3位	三戸 カズ	葛野	25位
4位	成田 鉄男	中島	30位
5位	佐々木 政美	中島	35位
6位	佐藤 誠	西中野目	40位
7位	三上 博志	中島	45位
8位	山内 友市	福島	50位
9位	佐藤 政文	常盤	55位
10位	小笠原 正成	表町	60位
11位	幸田 昌久	横町	65位
12位	幸田 昌久	横町	70位
13位	幸田 昌久	横町	75位
14位	幸田 昌久	横町	80位
15位	幸田 昌久	横町	85位

※同点の順位は年長順で決定しております。

女性部総会のお知らせ

一、日時 3月25日(火) 午前10時

二、会場 藤崎老人福祉センター 集会室2

三、案件

- 令和6年度事業報告
- 令和6年度決算
- 令和7年度事業計画案
- 令和7年度収支予算案
- 役員改選
- その他

四、講話

演題 未定

講師 町社協係長 成田朋之氏

五、参加費

無料

六、申込締切

3月10日(月) 地区両老人福祉センター 窓口

七、申込先

※昼食は持ち帰り致します。

日	曜	行事	時刻
1	土	レクダンス部	9:30
2	日		
3	月	芸能部	12:00
4	火	老連役員会	10:00
		囲碁・将棋部	12:30
5	水		
6	木	囲碁・将棋部	12:30
7	金		
8	土	レクダンス部	9:30
		日本舞踊部	13:00
9	日		
10	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
11	火	囲碁・将棋部	12:30
12	水	茶道部	13:00
13	木		
		囲碁・将棋部	12:30
14	金		
15	土		
16	日	広報委員会	13:30
17	月	芸能部	12:00
18	火	囲碁・将棋部	12:30
19	水		
20	木		
21	金		
22	土	レクダンス部	9:30
		日本舞踊部	13:00
23	日		
24	月	生け花部	10:30
25	火	女性部総会	10:00
		囲碁・将棋部	12:30
26	水	茶道部	13:00
27	木	囲碁・将棋部	12:30
28	金	【白寿】配布日	16時~
29	土	レクダンス部	9:30
		日本舞踊部	13:00
30	日		
31	月		

老いを愉しく 第十二回

元ときわ会病院長 永山隆造

《苦勞の試練から日々の感謝へ その一》

前号の「戦中時代」は戦争が始まり子供が最初に受けた試練は食糧難であった事までを書きました。太平洋戦争は昭和十六年(1941年)に始まりましたが、その以前より日本は戦争の準備のため二十才以上の男を義務的に兵隊にし、また兵器の増産を始めたので、肥料不足で農業生産が落ち、米不足が深刻になりました。更に生活必需品も不足になり、物品を国民に公平に分配するために昭和十五年(1940年)から配給制度が始まりました。

配給は、米・小麦粉・パン・麺類・味噌・醤油・塩・食用油・青果・魚・お菓子・砂糖・酒・煙草・酒・衣料・木炭・ゴム靴・マツチなど三十五品目になりました。日本の敗戦が色濃くなった昭和十八年(1943年)頃には配給物が極度に不足し、国民の栄養状態は非常に悪くなりました。

私は昭和十年(1935年)に生まれたので、昭和十五年(1940年)の五才頃から、昭和二十年の敗戦を過ぎて、中学校を卒業する昭和二十六年(1951年)十六才頃まで、日本各地が爆撃され農業・工業生産がストップしたため、食料不足・品不足による配給制度のもとでの苦しい試練の生活を経験して育ちました。

当時困難な生活を体験した人は非常に少なくなつたので、苦しい試練を強いられた配給制度下の生活を理解して頂くために、当時の生活の一端を書くことにします。

各家庭に配給される米が非常に少なくなり、米の中に馬鈴薯・かぼちゃ・細かく刻んだ大根・干し菜(大根の葉を干した物)などを入れて炊いた糧飯になり、更に薄いお粥になったりしました。米が無く馬鈴薯・かぼちゃなどだけを食する事もしばしばでした。もちろん魚・肉・卵などは一か月に1〜2回ほどしか食べられなかったのです。

戦前の昭和十二年と戦後の昭和二十一年の小学六年男子生徒の平均身長は、戦前は百三十五センチ、戦後は百三十七センチ。平均体重は戦前三十キロ、戦後二十八キロと書いた記録があります。栄養不良のために戦前より戦後の子供の平均身長は五センチ、

平均体重は二キロ少ないのです。私と同世代の人々は育ち盛りを栄養不良で過ごしました。(次号につづく)

常盤ひとり旅 第二十三回

石澤清五郎

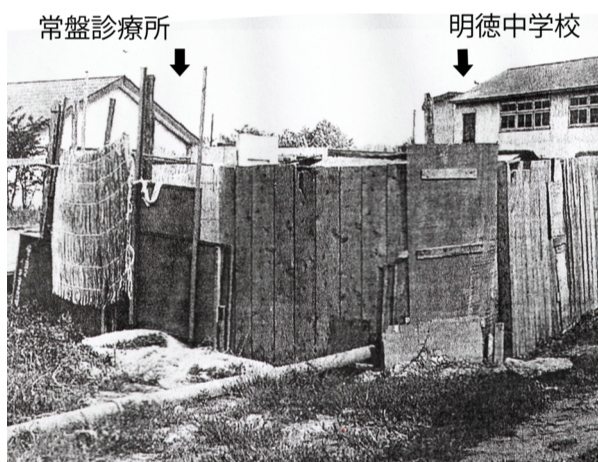
立春も過ぎ前年十二月二十一日(冬至)に回れ右した太陽は白神山地を後に岩木山に向かって進み、三月二十日頃から登山を開始、四月三十日頃までに山頂を越えなければ夏至に間に合わない?...

この通日も温泉が湧出してから往来が激しくなつた。最近の調査はないが、昭和四十二年九月一日から十日までの間、地区の住民が調査したところ、一日平均で歩行者六十八人、自転車五十三台、バイク類二十六台、トラクター類十八台、乗用車十四台通つたと「道路拡幅陳情書」(村長横山武信に提出)にあった。今は(株)陸奥ホーム、常盤建設と、会社もあり食事処、理髪店、居酒屋、かつてはバーもあったとか。

書き忘れてならないものに昭和五十六年二月十六日から利用できるようになった、老人福祉センターだ。この建物一億七千万円を要したとか、この中に社会福祉協議会が入居している。広さも千九百九十九とゆつたりした建物だ。そして温泉施設がついて、湯量は毎分四、五百リットルで温度も摂氏四十五度で水を割って入浴する人も多数だ。毎日四百人は利用しているのではないかと思う。無料の長寿者も数えてです。駐車場が広く気持ちが良い。東光寺堰(堰幅四十五cm)をはさんで中学校の校庭とつながっているのでおおく感じる。奥の方にデイサービスセンターが平成五年二月六日新設され、付設して在宅支援センターが完成し、送り迎えを受ける方々で職員も相当多忙なようだ。並んで陶芸ハウスがある。昭和五十六年十二月号の広報ときわによると、老人の「生きがい創造事業」の一つとして、(A)園芸(モヤシ栽培) (B)手芸(男はわら細工、女は胴着作り) (C)陶芸(素焼・本焼きの技術習得)が計画されたが、

(A)園芸は二年位で中止となり、場所は長年更地となっていたが、昨年の秋に葬祭用具小屋が建てられた。(B)手芸は計画を立てたが実施された記録は見当たらない。ただ一つ(A)陶芸だけが残り、常盤村合併三十周年の記念品等を作ったり、保育所や生き生き

生活大学の教育の一つとして(A)(B)(C)が計画実施されて用具も充実した。(毎週火曜日と金曜日には会員十数名が集い腕をみがいているのは頼もしい)、その隣にゲートボール場二面、ここをふれあい広場と言うのだそう。また、この地区に、用具入付の休憩所があったらと願うのは贅沢だろうか。隅々に空地があり草花でも植えたらもつとなごむのに、誰も気がついていないのだろうか。



温泉の湧出した場所

福祉センター落成まで(6ヶ月)、気の早い人は、この場所に入浴した。(浴槽はドラム缶だった)燃料と埋める水は仲間や自前で準備した。



現在のときわ温泉

社会福祉に協議会付属し建設された温泉施設で、平成26年4月2日に改修され、現在に至る。

◆ 歯なしの話 154 ◆

「先日の事故」

あまりに痛ましいので、交通事情の先進国である米国にいる娘に聞いてみた。

彼女も子育て真っ最中なので、マジな事を聞けると思った。案の定いろいろと教えてくれた。その一部をお知らせする。

冬場厚着をさせてチャイルドシートに乗せるとその厚みのせいできちんと固定されない...薄着で

乗せて毛布をかけるなどの方がいい。情報収集...何が危ないか・危険か情報収集する事は必要だ。情報は、日々更新されているので、昔の経験に頼って安全性を無視するのは良くない。シートベルトは身長・体重がシートベルトのサイズに合っていないと逆に危ないそう。子どもの成長に合わせて、きちんと肩にかかる位の身長が有るか否かを確認して購入すべきであろう。腹部のベルトだけでは腹膜にナイフのように食い込むこともあるそう。

また、エアバッグもきちんと座席に深く座っていないと前のめりになり、エアバッグの爆発的なインパクトで逆に死亡する人もいるそう。また、エアバッグはきちんと距離をとっていないと、爆発の勢いで顔面も破損するので怖いそう。

米国での事故・犯罪の専門家の方より直接聞いた話なので、実際にあった事のように。兎に角小さな子供を守るのは、親の義務であるから、あらゆる角度より注意して守ってあげるのは必要であろう!

先の事故は母親にしてみれば泣くに泣けない出来事であろう。

娘曰く...注意し過ぎることは無いので頑張つて子供を守ってあげて下さいとの事だった。

日本では、我々高齢者ドライバーによる交通事故が増加している。くれぐれも加害者にならないように注意しよう。

短歌

人よりも最も進む世界あり
浅利 茂雄

人間知らず世の中めぐる

海野比呂子

背を向けて突然縄跳び二段跳び

テレビ電話に照れ屋のアーちゃん

藤村みち女

旅立ちの孫に贈りし万年筆

笑顔が映るマリンプルーに

清水稼志男

連日の大雪に墓地埋られて

屋根だけ見える奥山の寺